



初等部だより 7月号

鎌倉女子大学初等部
令和元年6月27日
第4号

自分もみんなも楽しい修学旅行

部長 勝木 茂

新学期が始まり3か月が過ぎようとしています。校舎内を回っていると、始業前の時間に、すっかり安心しきって6年生のお姉さんと自然体で遊んでいる1年生の姿、季節は梅雨ですが、雨の合間に初等部グラウンドで元気に遊ぶたくさんのお姉さんたちの姿、委員会活動で自分の役割を果たそうとしている高学年の姿等々……。岩瀬キャンパスの木々の緑は映えわたり、季節は、さわやかな初夏に変わろうとしています。

さて、6月12日(水)～14日(金)2泊3日の日程で修学旅行を実施いたしました。



実施前日の11日(火)わたしの方から6年生に事前指導(講話)を行いました。修学旅行は、今も昔も子どもたちが楽しみにしている学校行事の一つです。ですから全員が思い出に残る楽しいものにして欲しいという願いを先ず伝えました。今年の6年生とは、2年前の4年生だった時、わたしは一緒に宿泊体験学習に行っています。その時のキャンプファイヤーは、大変楽しいものでした。わたしもこれまでたくさんのキャンプファイヤーを経験してきましたが、それらの中でもとても思い出深いものだったことを伝えました。あの日のキャンプファイヤーは、まるで時間が止まったようにみんなの心が、みんな楽しんでいくというひとつになった素晴らしい瞬間でした。今年の6年生には、本来、そのような力が備わっているのだと思います。わたしはそのことも伝えました。その上で、「自分もみんなも楽しい修学旅行」にして欲しい

と伝えました。

「自分が(は)楽しい」は、ともすると自分だけ(自分たちだけ)が楽しんでいて、場合によっては、他のみんなは、楽しくない、或いは迷惑に感じているという状況になっていることもあります。それに対して「自分もみんなも楽しい」は、常に周りを意識して行動することにより成り立ちます。「みんな」とは、自分以外の学級や学年の友だちですが、今回6年生には、そこに止まらず、例えば駅や新幹線の中での他の乗客、ホテルでの他の宿泊客、見学先での他の観光客等、いわゆる公共の場まで「みんな」を広げて考えて欲しいと伝えました。初等部のやくそくには、「校外においてはいつも『私は学園の代表者』』という自覚をもって行動できるようになる」とあります。修学旅行中、視野を広げ、周りへの気づかひを心がけながら、自分たちの立ち振る舞いを意識して欲しいと伝えました。

さて、一日目大船駅に集合し、出発前の時間に駅のトイレに行きました。わたしが少し遅れて男子トイレに行ったとき、すでに何人かの男子児童が、並んでいる一般の人を追い越してトイレを使おうとしていました。わざと追い越そうという意図は無かったとは思いますが、結果として順番待ちをしている人に迷惑をかけることとなりました。すぐに列の最後尾に並ぶよう指示し、先に並んでいる方々に謝罪し許していただきましたが、出だしから課題のあるスタートとなりました。

しかし、その後の日程の中では、新幹線の中での過ごし方等、多少の課題はありましたが、「自分もみんなも楽しい」を意識した行動をいくつも見ることができました。例えば、帰りのJR駅構内での移動では、周りの人たちの移動を待ってから動き出す子どもたちがぐんと増えました。また、食事の後には椅子や座布団をきちんと直している子どもたちもいました。

6年生には、修学旅行を通して学んだことを今後の初等部生活にいかして欲しいと願っています。(修学旅行の様子については、初等部ホームページにも掲載しています。)